

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-MP200X



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

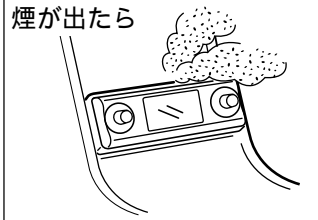
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
CDについて	6
MP3について	8
はじめに	10
まず、本機をリセットする	10
CD・ラジオの聞きかた	12
各部のなまえ	14
カードリモコンの操作	16
時計を合わせる	18

CD/MP3・MD

CD/MP3、MDを聞く	19
繰り返し聞く （リピート再生）	23
曲順を変えて聞く （シャッフル再生）	24
ディスクに名前をつける （カスタムファイル —ディスクメモ）	25
ディスクを名前で探す （リスト）	27

ラジオ

放送局を自動で登録する	28
放送局を手動で登録する	31
放送局に名前をつける （ステーションメモ）	33
放送局を名前で探す （リスト）	35

サウンドの設定

DSOを設定する	36
イコライザーを使う（EQ）	37
音のバランスや音質を設定する （バス）（トレブル） （バランス）（ATT） （ソースサウンドメモリー）	39
スピーカーの出力を設定する	41
サブウーファースの出力を 設定する	43

その他の操作

音や表示などの設定を換える	45
スペクトラムアナライザーを選ぶ （SA）	47
デモディスプレイに好きな文字を 表示させる	48
ポータブル機器の音声を聞く	49
ロータリーコマンダー（別売り）の 操作	50

使用上のご注意	53
故障かな?	56
保証書とアフターサービス	60
主な仕様	61
索引	63



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正し
く取り付けてください。正しい取り付けを
しないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



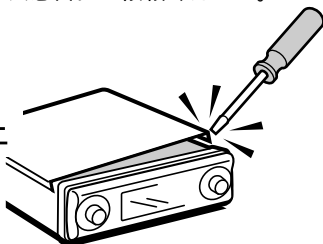
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

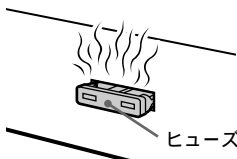


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



禁止

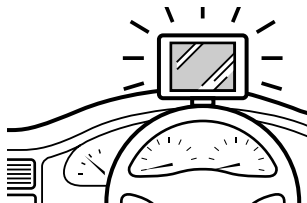


前方の視界を妨げる場所に、ディス プレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの
原因となります。また、取り付け場所が
助手席用エアバッグシステムの動作の妨げ
にならないことを確認してください。



禁止



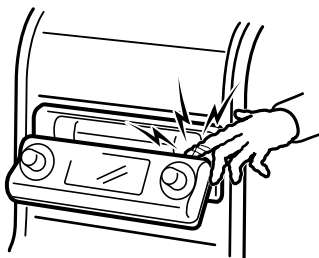


下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ACCポジションのないお車のときはOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

フロントパネルとディスプレイの開閉中は、手を近づけない

指をはさまれ、けがの原因となることがあります。また、ディスプレイが出てくるときに手などにぶつかり、けがをすることがあります。



走行中はCDを入れ換えない

運転から注意がそれ、事故の原因となることがあります。



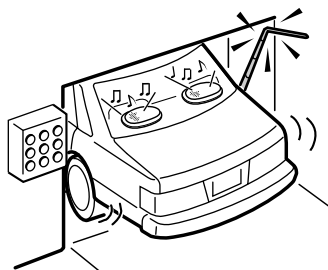
禁止

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ



禁止



ディスクに紙などを
貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因
となったり、大切なディスクにもダメージを
与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりが
はみ出したり、シールをはがしたあとにの
りが付着しているもの。
またラベル面に印刷され
ているインクにべたつき
のあるもの。



- レンタルCDでシールな
どがめくれているもの。



- お手持ちのディスクに飾
り用のラベルやシールを
貼ったもの。



ラベルやシールを貼付したディスクは使わな
いください。

次のような故障の原因となることがありま
す。

ラベルやシールが本機内ではがれ、ディ
スクが取り出せなくなります。
高温によってラベルやシールが収縮して
ディスクが彎曲してしまうため、信号の
読み取りができなくなります。(再生でき
ない、音飛びがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけま
す。円形以外の特長な形状(星形やハート
形、カード型など)をしたディスクを使用す
ると、本機の故障の原因となることがありま
す。

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

演奏する前に、演奏面についてたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。







ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

オーディオCD	 
MP3ファイル	   

- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。
- セッションの追加が可能なCD-R/CD-RWも再生できます。

MP3について

MP3 (MPEG1 Audio Layer3の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。

人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

ディスクについてのご注意

本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R (レコーダブル)、CD-RW (リライタブル) ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。

本機ではマルチセッション対応で記録したディスク (CD-ExtraやMixed CDなど) もご使用になれます。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。

ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1: ファイル名は8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、"_"で8文字以下、拡張子は3文字)。

フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2: ファイル名は最大半角31文字 (区切り文字、"."と拡張子を含む)。フォルダーは名前が半角31文字以下で、階層は8つ以下。

拡張フォーマット

Joliet: ファイル名、フォルダー名は最大で半角64文字。

Romeo: ファイル名、フォルダー名は最大で半角128文字。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。

従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。

マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra: セッション1のトラックに音声 (オーディオCDデータ) を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD: 1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声 (オーディオCDデータ) を記録するフォーマット。

ご注意

- ファイル名、フォルダー名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。

多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
マルチセッションで記録したディスク
セッションの追加が可能なディスク

マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

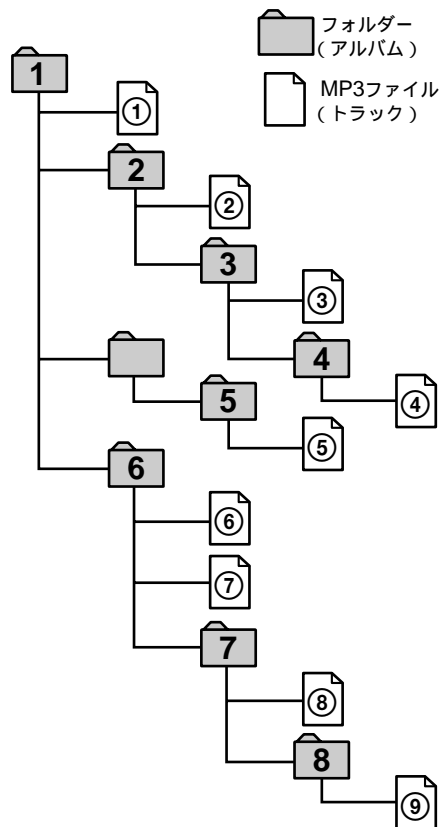
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合:
オーディオCDデータは通常に再生し、その他のデータは無音で再生します。(MP3ファイルは再生されません。)
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合:

ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータとはばします。

ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO Music」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。



第1階層 第2階層 第3階層 第4階層 第5階層
(ルート)

ご注意

- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- ディスクに含まれるフォルダーは255個までです。(ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーも含みます。)
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダーは合わせて最大512個までです。ファイル名、フォルダー名の文字数が多い場合は、512個以下になることがあります。
- 最大8階層まで再生できます。

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダー名・ファイル名のはじめに数字(01、02など)をつけることで再生順序を指定できることがあります。

あなたが[放送やレコード、録音物、録画物、実演などを]録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

はじめに

- 本機はCDとMP3、ラジオ、外部入力 (AUX) に対応。
CD : 音楽用CD/音楽用CD-R/音楽用CD-RW/CD TEXT
MP3ファイル : CD-ROM/CD-R/CD-RW (ISO9660レベル1 / レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録している) マルチセッション対応
ラジオ : FM/AM
AUX : 外部入力
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO (ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー) 機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドイコライザー (EQ7) 機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー (別売り) に対応。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、カードリモコンと別売りのロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

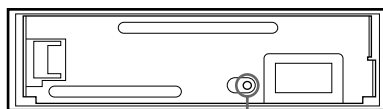
まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。



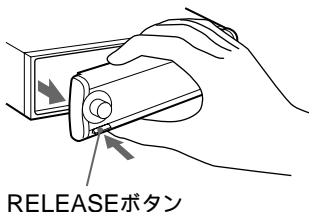
リセットボタン

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、RELEASEボタンを押してください。フロントパネルをまっすぐに引いて外してください。

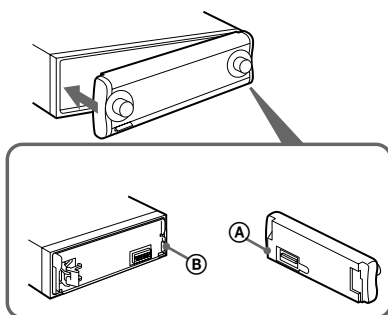


⚠ 注意

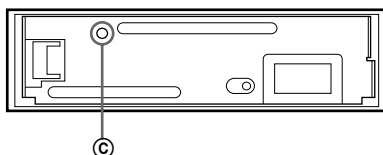
- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓を押したり、強い力をあたえないでください。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。
- CDの取り出し中に、フロントパネルを外さないでください。ディスクトレイが出てくる前にフロントパネルを外すと、CDはイジェクトされません。

取り付けかた

フロントパネルの④部分と本体の⑤部分を含わせて、ロックされるまで押し込んでください。



フロントパネルを忘れた場合など、フロントパネルを外した状態でCDを取り出すには、⑥の穴につま楊枝などを入れ、中にあるOPEN/CLOSEボタンを押してください。



はじめに／まず、本機をリセットする

CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

2 CDを入れる

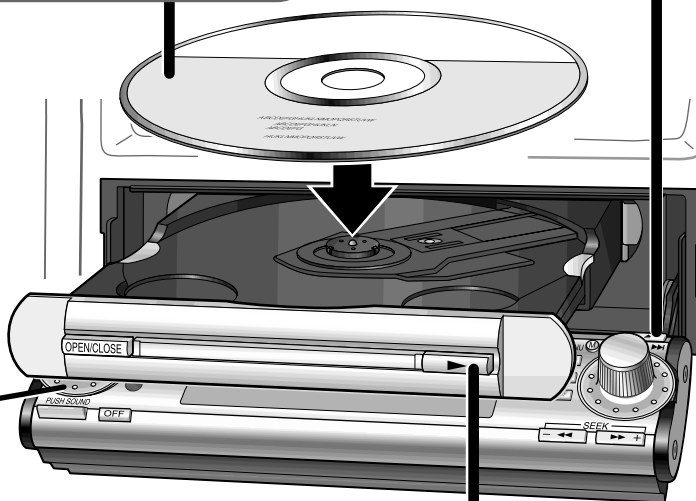
ラベル面を上にして、ディスクトレイに“カチッ”と音がするまではめ込みます。

1 パネルを開ける

▲ボタンを押します。



音量を
調節する



聞きたいところを探す(手動サーチ)

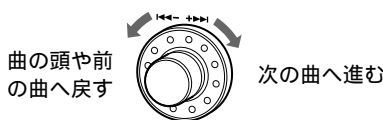
←◀または▶▶+ボタンを押し続け、聞きたいところで離します。

前に戻す  先に進める

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

再生したい曲番号が表示されるまで◀◀/▶▶ダイヤルを回します。



3 ▶ボタンを押す

ディスクトレイ、フロントパネルが閉まり、再生が始まります。

ディスクが入っているときはSOURCEボタンを押して「CD」表示になると再生が始まります。

表示を切り換えるにはDSPLボタンを押します。

止める / 電源を切るにはOFFボタンを押します。

CDを取り出すには▲ボタンを押します。

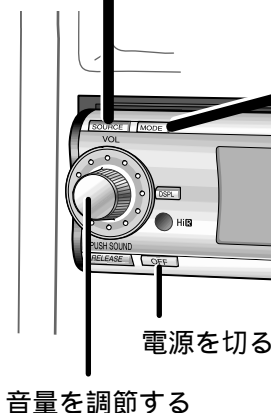
ご注意

- ディスクを2枚以上入れないでください。
- ディスクトレイとフロントパネルは約30秒で自動的に閉まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると故障の原因になりますので使用しないでください。

ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする



2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

3 聞きたい放送局を選ぶ

放送曲を登録してあるときに選ぶことができます。
くわしくは28～32ページをご覧ください。

自動選局で受信する(自動選局)

←◀または▶+ ボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

前の放送局
を探す



次の放送局
を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)

←◀または▶+ ボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

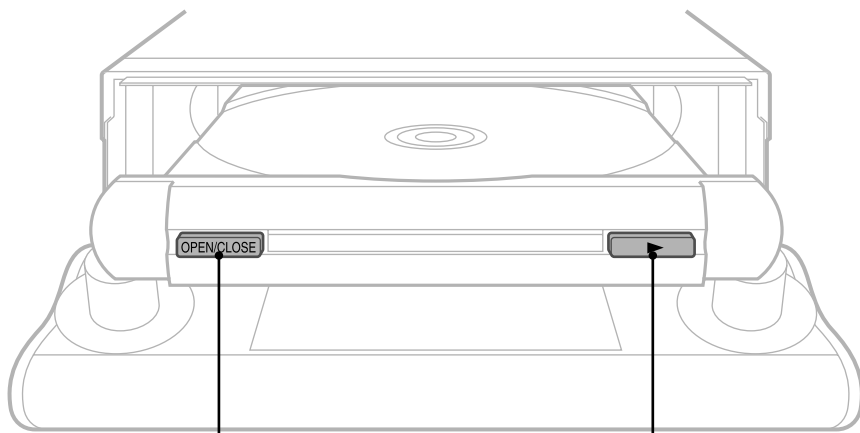
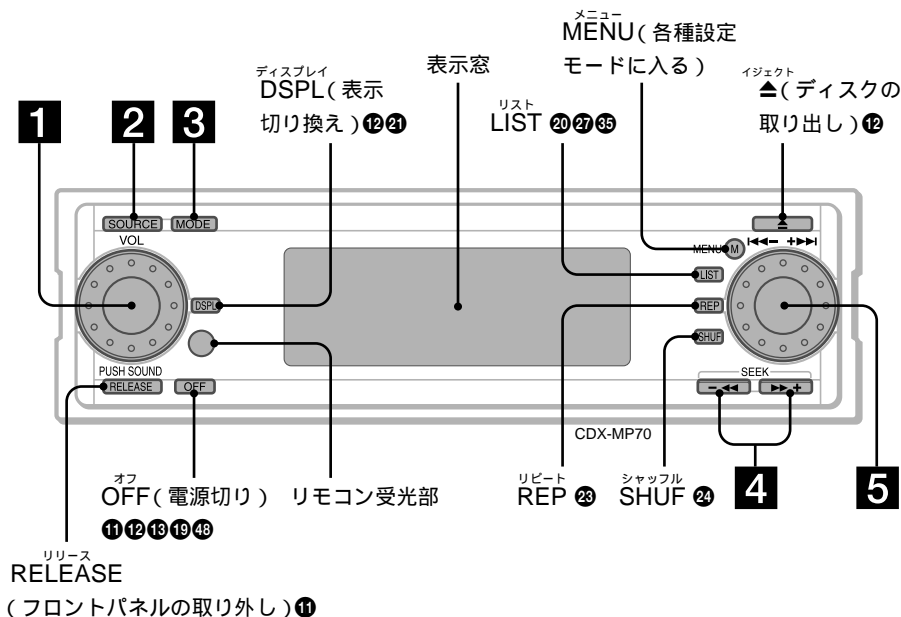
低い周波数の
放送局を探す



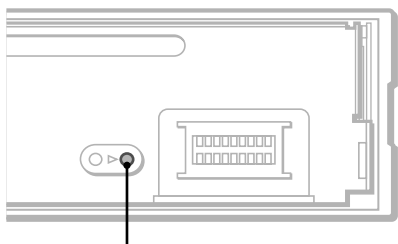
高い周波数の
放送局を探す

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



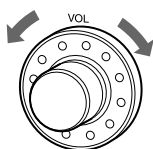
フロントパネルの内側



リセットボタン ⑩

- 1** ボリューム サウンド
VOLダイアル/SOUNDボタン
(音量調節/サウンド設定項目の選択/サウ
ンドの調節)

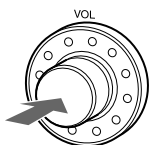
回すと



音量調節

サウンド設定時：サウンドの調節

押すと

サウンド設定
項目の選択

- 2** ソース
SOURCE (ラジオ/CD/MD/AUX切り換
え)

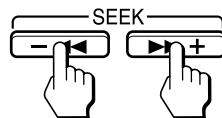
- 3** モード
MODE

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の
切り換え ⑬ ⑳ ㉑

CD/MD* CD/MD機器の切り換え
⑲ ㉒

* 別売りの機器が接続されているとき

- 4** シーク
←◀/▶→+ (SEEK) (ラジオ選局/設定項
目の選択)



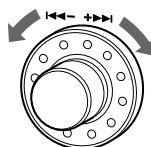
ラジオ 周波数の低い 周波数の高い
放送局へ 放送局へ
(押し続ける) (押し続ける)

CD/MD 早戻し 早送り
(押し続ける) (押し続ける)

メニュー設定時：設定項目の選択

- 5** ◀◀/▶▶ダイアル (プリセットサーチ/頭
出し/メニュー項目の選択/各種設定の確
定)

回すと



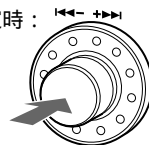
ラジオ 登録した局の選局 ⑬ ㉓

CD/MD 曲の選択 ⑫ ㉔

メニュー設定時：メニュー項目の選択

押すと

メニュー設定時：

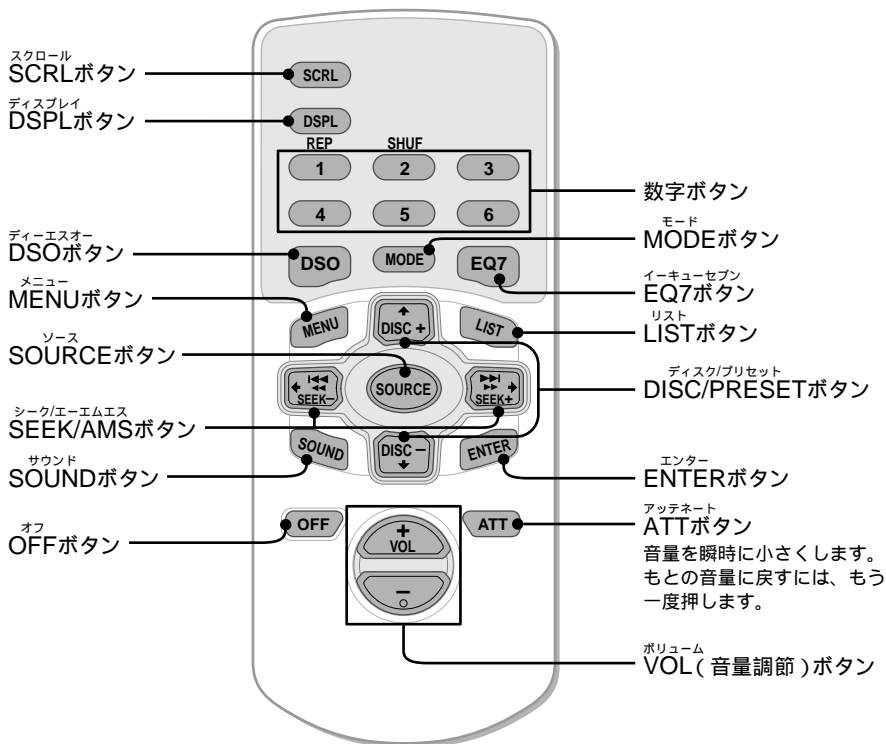
各種設定
の確定

ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

カードリモコンの操作

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



RM-X112

ディスクやアルバムを選ぶには

カードリモコンのDISC/PRESET(↑/↓)ボタンでディスクやアルバムを選ぶことができます。

本機でCDを再生している場合は

(別売りのCD機器を接続していない場合)

MP3再生時に、↑または↓ボタンを押して再生したいアルバムを選びます。

押し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーでCDまたはMDを再生している場合は

- ↑または↓ボタンを押すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。

ボタンを離してから1秒以内に再びボタンを押し、押し続けると連続して送れます。

- MP3再生時に、↑または↓ボタンを押し続けると、再生中のディスク内のアルバムを選ぶことができます。

ボタンを離してから1秒以内に再びボタンを押すと、1つずつ送れます。

連続して曲の頭出し(自動選曲センサー(AMS))をするには

SEEK/AMS(←/→)ボタンを押すと、前の曲や次の曲に押した数だけスキップします。

連続して送るには、ボタンを離してから1秒以内に再びボタンを押し、そのまま押し続けて聞きたい曲番号になったところで離します。

ご注意

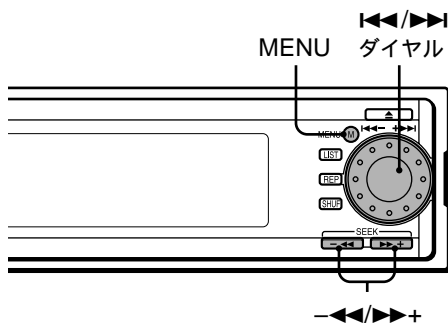
本体またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(54ページ)をご覧ください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。

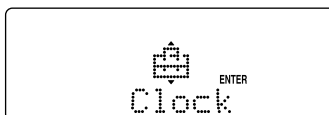


ちょっと一言

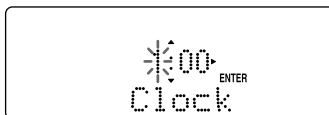
「音や表示などの設定を換える」(45～46ページ)でD.Info設定を「on」にしておくと常に時計を表示させておくことができます。ただし、「スペクトラムアナライザーを選ぶ」(47ページ)でB-1～B-5のパターンを選んでいる場合はSAモードが優先されます。

1 MENUボタンを押す。

2 I<<</>>>Iダイヤルを回して「Clock」を選ぶ。



3 I<<</>>>Iダイヤルを押す。



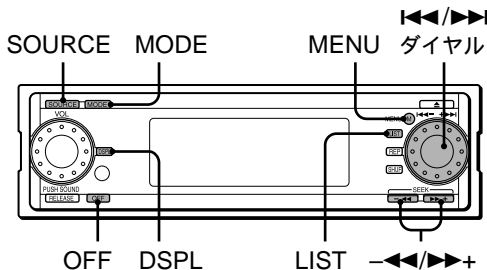
- ① I<<</>>>Iダイヤルを回して「時」を合わせます。
- ② >>>+ボタンを押して「分」の位置に移動し、I<<</>>>Iダイヤルを回して「分」を合わせます。
I<<</>>>Iダイヤルを左へ回すと数値が戻り、
I<<</>>>Iダイヤルを右へ回すと数値が進みます。

4 設定後、I<<</>>>Iダイヤルを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

CD/MP3、MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製CD/MD機器を接続して、CDやMDを再生できます。本機またはCD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*1 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。

*2 MP3再生時のみ表示します。

*3 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

*4 MP3とCD TEXT、MD再生時のみ表示します。

ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

ちょっと一言

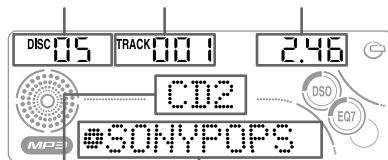
ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生しません。

聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

ディスク番号*1/

アルバム番号*2 トラック番号 再生経過時間



CD/MDユニット
番号*3

ディスク名/アルバム名*2/
曲名*4/ID3タグ*2など

- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのソニー製CD/MD機器）に切り換える。

CDの場合

CD1（本機）→ CD2（CD機器1）*3 →
CD3（CD機器2）*3

MDの場合*3

MD1（MD機器1）→ MD2（MD機器2）→
MD3（MD機器3）

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

CD/MP3、MDを聞く(つづき)

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

- 1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押す。
- 2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回してディスクを選ぶ。
- 3 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

ディスク選択についてくわしくは、「ディスクを名前で探す」(27ページ)をご覧ください。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に◀◀/▶▶ダイヤルを回す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中に◀◀または▶▶+ボタンを押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「L L L L L L」または「M M M M M M」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1(別売り)を再生するには

* 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

SOURCEボタンを押して「MS」または「MD*」を選ぶ。

「MS」の場合

MGS-X1の再生が始まります。

「MD」の場合

MODEボタンを繰り返し押して「MS」を選びます。

例)MGS-X1をソースセクタ-(別売り)の入力端子2に接続した場合

MD1(MD機器1)→MS(MGS-X1)→

MD3(MD機器2)→・・・→MD1

ちょっと一言

- ・「オートスクロールの設定」(22ページ)で「A.Scroll on」にしておくと、ディスクやアルバム、曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- ・DSPLボタンを2秒以上押すと、表示がスクロールします。
- ・MP3のID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」と順に表示します。

ご注意

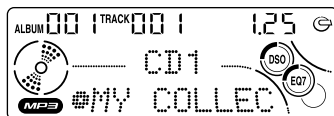
- ・CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのは、MP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- ・CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- ・MP3再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。

VBR(Variable Bit Rate: 可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
早送り、早戻し(手動サーチ)をしたとき

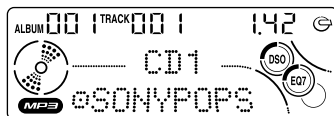
表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

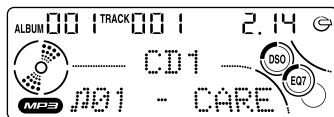
CDの再生の場合



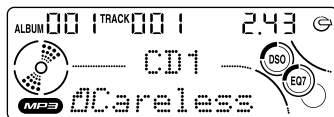
ディスク/アルバム番号、曲番号、再生経過時間とディスク名/アーティスト名*1*2



ディスク/アルバム番号、曲番号、再生経過時間とアルバム名(MP3のみ)



ディスク/アルバム番号、曲番号、再生経過時間と曲名*3(MP3、CD TEXTとMDのみ)



ディスク/アルバム番号、曲番号、再生経過時間とID3タグ*4(MP3のみ)

*1 ディスク名がついていないときは、「NO D.Name」の後に「 」と一瞬表示され、その後スペクトラムアナライザーの設定表示になります。

*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモ(25ページ)の名前を表示します。

*3 曲名がついていないときは、「NO T.Name」の後に「 」と一瞬表示され、その後スペクトラムアナライザーの設定表示になります。

*4 ID3タグがついていないときは、「NO ID3 Tag」の後に「 」と一瞬表示され、その後スペクトラムアナライザーの設定表示になります。

ID3タグはver.1にのみ対応しています。

表示可能な文字コードはASCIIと半角カナ(JolietフォーマットのときはASCIIのみ)で、それ以外の文字は「*」で表示します。

ID3タグの曲名/アーティスト名/アルバム名を表示します。

[次のページへつづく](#)

CD/MP3、MDを聞く(つづき)

ご注意

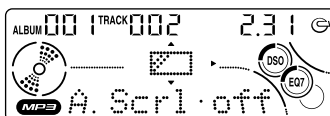
スクロールするのはDSPL
ボタンで選んだ表示のみで
す。

オートスクロールの設定

MP3、CD TEXT対応のCDまたはMDを再生している場合は、ディスク、アルバムまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「on」にしておくと10文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示させることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「A.Scrl」を選ぶ。



3 ▶▶+ボタンを押して「A.Scrl on」を選ぶ。

4 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

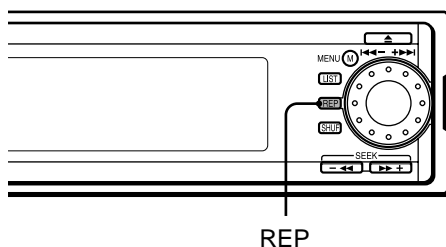
通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
手順3で「A.Scrl off」を選びます。

繰り返し聞く

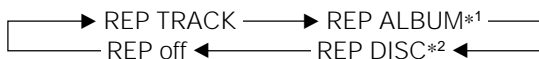
(リピート再生)

再生中の曲のみ、アルバム内の全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



CDまたはMDを再生中にREPボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返し返す「REP TRACK」にする。
- 再生しているアルバムを繰り返し返す
.....「REP ALBUM」*1にする。
- 再生しているディスクを繰り返し返す
.....「REP DISC」*2にする。

*1 MP3ファイル再生時のみ表示されます。

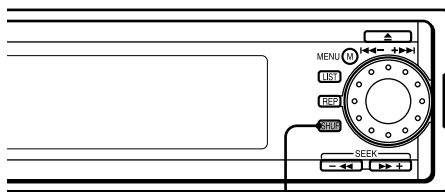
*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには
REPボタンを押して「REP off」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



SHUF

ご注意

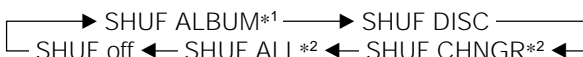
「SHUF ALL」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF CHNGR」
「SHUF ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDの再生中にSHUFボタンを繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには 「SHUF ALBUM」*¹にする。
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには 「SHUF DISC」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには 「SHUF CHNGR」*²にする。
- 再生しているソース (CDまたはMD) のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには 「SHUF ALL」*²にする。

*¹ MP3ファイル再生時のみ表示されます。

*² ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

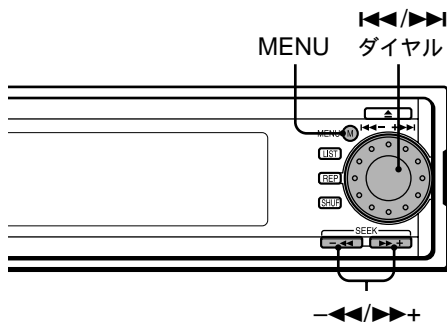
シャッフル再生をやめるには
SHUFボタンを押して「SHUF off」選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル —ディスクメモ—)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。



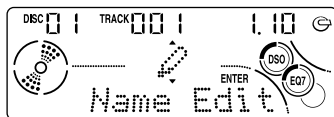
ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能を操作することはできません。

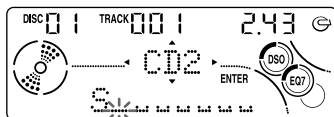
ちょっと一言

- 手順5で◀◀/▶▶ダイヤルを回すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔ ↔ ↔ . ↔
↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあけたいときは、「↔」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、◀◀ボタンを押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもディスクメモ入力モードになります。また手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても通常の画面に戻ります。

- 1 名前をつけたいCDを再生する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「Name Edit」を選ぶ。



- 4 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。
- 5 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して入力する文字を選び、▶▶+ボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて▶▶+ボタンを押します。

- 6 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったら◀◀/▶▶ダイヤルを押す。
通常の画面が表示されます。


[次のページへつづく](#)

ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

- 手順4では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

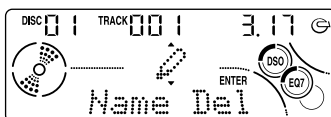
ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(25ページ)の手順5で、すべての文字に「」を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

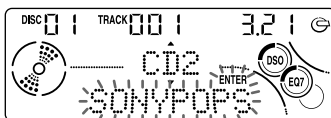
1 CDチェンジャー内のCDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「Name Del」を選ぶ。



3 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

4 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して、消去するディスクの名前を選ぶ。



5 ◀◀/▶▶ダイヤルを2秒以上押し続ける。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順4～5を繰り返します。

6 MENUボタンを2回押す。

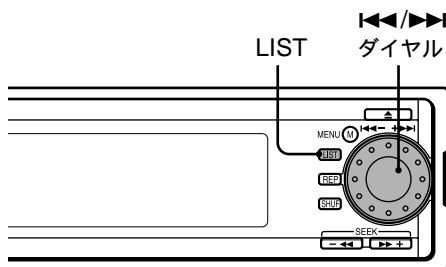
通常の画面が表示されます。

ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- ・別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- ・別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- ・別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* CDについてはディスクメモ機能(25ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
「-----」: ディスクが入っていない。
「-----」: 名前がついていない。
「????????」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ロータリーコマンドー(別売り)では操作できません。

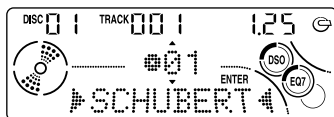
ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには
LISTボタンを押します。
- 現在再生中のディスク名/ア
ルバム名/曲名の左右には
「▶◀」が表示されます。
- 5秒以上操作をしないと、
通常の画面に戻ります。

* アルバム名はMP3再生時のみ表示します。

- 1** 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



- 2** ◀▶/▶▶ダイヤルを回して、聞きたいディスク名を表示させる。

- 3** **⏮/⏭**ダイヤルを押す。

再生が始まります。

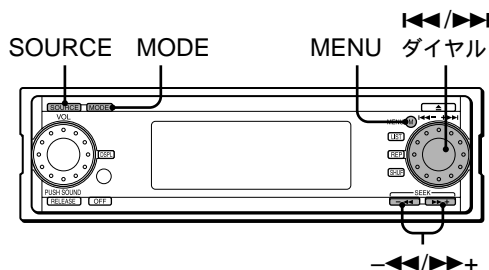
アルバムや曲を名前で探す

MP3、CD TEXTまたはMDを再生中にLISTボタンを押すと、アルバム名*および曲名が表示され、名前を見ながら選ぶことができます。

- 1 再生中にLISTボタンを繰り返し押し、アルバム名または曲名表示にする。
- 2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して聞きたいアルバムまたは曲を選ぶ。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

ちょっと一言

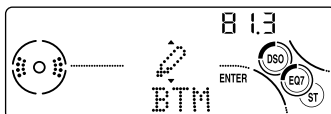
カードリモコンで操作するときは、数字ボタンまたは↑/↓ボタンを使います。

1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 MENUボタンを押す。

4 ILL/RTLダイヤルを回して「BTM」を選ぶ。



5 ILL/RTLダイヤルを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

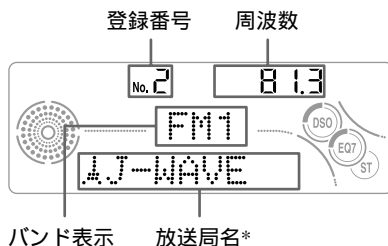
ラジオ受信中にILL/RTLダイヤルを回して、聞きたい放送局を選ぶ。

* 名前がついている場合のみ表示します。名前の登録のしかたについてくわしくは、33ページをご覧ください。

ちょっと一言

–◀◀または▶▶+ボタンを押し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

表示窓の見かた



旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中に–◀◀または▶▶+ボタンを押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで–◀◀または▶▶+ボタンを押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
 - 2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「Local」を表示させる。
 - 3 ▶▶+ボタンを押して「Local on」を選び、◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Local off」を選びます。

次のページへつづく

放送局を自動で登録する(つづき)

ご注意

FM放送が聞きにくい場合は、DSOの設定(36ページ)を「off」にしてください。

ご注意

IF Autoモードを「Wide」にして、雑音が入って聞きにくい場合は、「IF Auto」に戻してください。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 **◀◀/▶▶**ダイヤルを回して「Mono」を表示させる。
- 3 **▶▶+**ボタンを押して「Mono on」を選び、**◀◀/▶▶**ダイヤルを押す。

ふつうの受信に戻すには
手順3で「Mono off」を選びます。

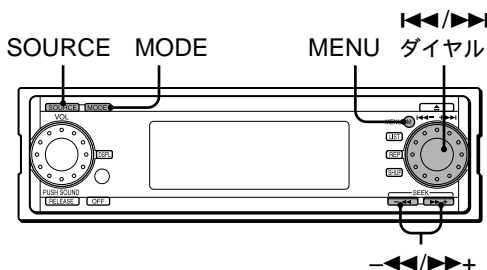
受信周波数を自動的に調整する (IF Autoモード)

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなる場合があります。この場合「IF Auto」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。このためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもIF Autoモードを「Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押す。
- 2 **◀◀/▶▶**ダイヤルを回して「IF Auto」を表示させる。
- 3 **▶▶+**ボタンを押して「IF Wide」を選び、**◀◀/▶▶**ダイヤルを押す。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



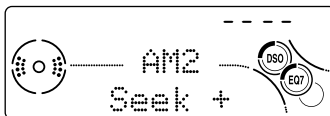
ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

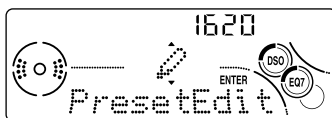
ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。
- 手順3-①では、◀◀または▶▶+ボタンを押し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。

- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3
 - ① 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、◀◀または▶▶+ボタンを押し続ける。
 - ② 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
◀◀または▶▶+ボタンを押して離す。
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



- 4 MENUボタンを押す。
- 5 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「PresetEdit」を選ぶ。



次のページへつづく

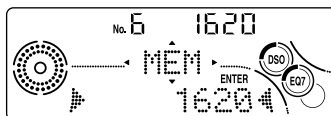
放送局を手動で登録する(つづき)

ちょっと一言

「FM1」,「FM2」,「AM1」
および「AM2」のそれぞれ
に6局ずつ、合わせてFM、
AM各12局ずつ登録できま
す。

6 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

7 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して登録したい番号を選
び、◀◀/▶▶ダイヤルを押す。



選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

8 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

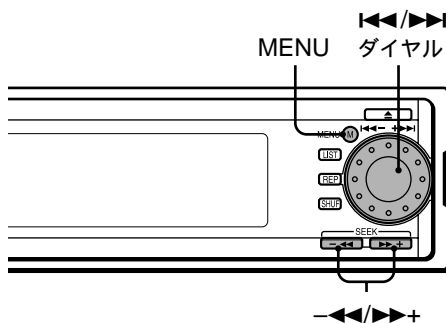
カードリモコンで操作するには

- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3 ◀または▶ボタンを押して、登録したい放送局の周波数に合わせる。
- 4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押し続ける。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



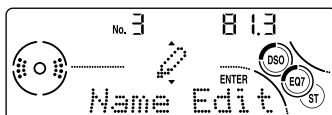
ちょっと一言

- 手順5で◀▶ダイヤルを回すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔ ↔ ↔ . ↔
↔ ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあけたいときは、「↔」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、◀▶ボタンを押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもステーションメモ入力モードになります。また、手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても通常の画面に戻ります。
- メモリーがいっぱいになると「Mem Full」と表示し、それ以上放送局名をつけることができません。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

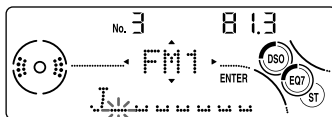
2 MENUボタンを押す。

3 ◀▶ダイヤルを回して「Name Edit」を選ぶ。



4 ◀▶ダイヤルを押す。

5 ◀▶ダイヤルを回して入力する文字を選び、▶+ボタンを押して次の文字に移動させる。




スペースを入れたいときは、続けて▶+ボタンを押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったら◀▶ダイヤルを押す。

通常の画面が表示されます。



放送局に名前をつける(つづき)

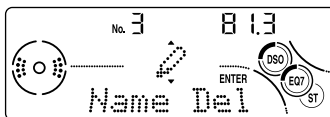
ちょっと一言



- 「放送局に名前をつける」(33ページ)の手順5で、すべての文字に「」を入力して名前を消すこともできます。
- 放送局名がすべて消去された場合は、手順5で「NO Data」と表示します。



放送局の名前を消去する

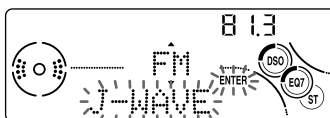
1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。



2  ダイヤルを回して「Name Del」を選ぶ。



3  ダイヤルを押す。

4  ダイヤルを回して、消去する放送局名を選ぶ。



5  ダイヤルを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4～5を繰り返します。

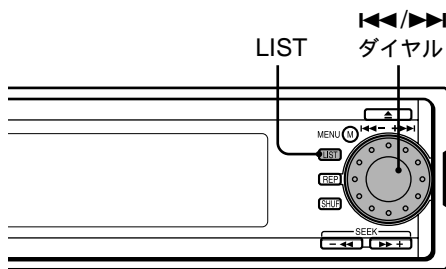
6 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を名前で探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、33ページをご覧ください。



ご注意

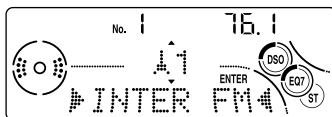
ロータリーコマンダー（別売り）では操作できません。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには LIST ボタンを押します。
- 現在受信中の放送局名の左右には「▶◀」が表示されます。
- 5秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して放送局を選ぶ。

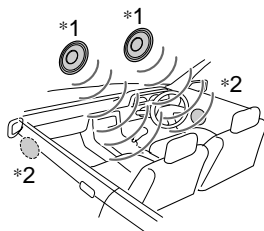
3 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

バーチャルスピーカーのイメージ



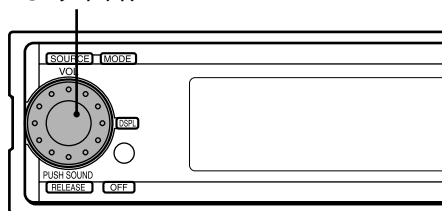
*1 DSO on

*2 DSO off(実際のスピーカー(フロントドア下))

ちょっと一言

- 手順2でVOLダイヤルを押すごとに
DSO → EQ7 → BAS →
TRE → BAL → FAD →
SUB
と切り換わります。
- 3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります。
- カードリモコンで操作するときは、DSOボタンを押して「on」と「off」を切り換えます。

VOLダイヤル

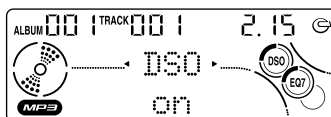


1 設定するソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生/受信する。

2 VOLダイヤルを押して「DSO」にする。

3 3秒以内にVOLダイヤルを回して「on」にする。

VOLダイヤルを右へ回すと「on」、左へ回すと「off」になります。

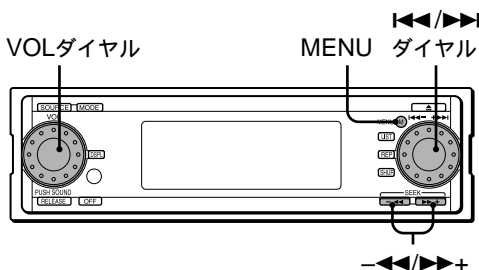


約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには
手順3で「off」を選びます。

イコライザーを使う(EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



ご注意

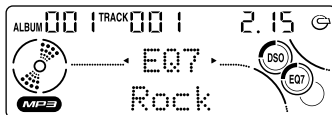
DSO設定中は、DSOの効果を最適化するためイコライザーの効果を抑えています。

ちょっと一言

- 手順2でVOLダイヤルを押すごとに
DSO → EQ7 → BAS →
TRE → BAL → FAD →
SUB
と切り換わります。
- 手順3でVOLダイヤルを回すごとに
Xplod ↔ Vocal ↔
Club ↔ Jazz ↔
New Age ↔ Rock ↔
Custom ↔ off ↔
Xplod
と切り換わります。
- 3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- カードリモコンで操作するときは、EQ7ボタンを繰り返し押し、イコライザーモードを選びます。

イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生 / 受信する。
- 2 VOLダイヤルを押して「EQ7」にする。
- 3 3秒以内にVOLダイヤルを回して、イコライザーモードを選ぶ。



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには
手順3で「off」を選びます。

次のページへつづく

イコライザーを使う(つづき)

ご注意

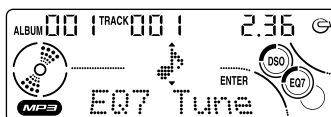
EQ offでは、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

- 手順5で-◀◀または▶▶+ボタンを押すごとに
Xplod ↔ Vocal ↔
Club ↔ Jazz ↔
New Age ↔ Rock ↔
Custom ↔ off ↔
Xplod
と切り換わります。
- 手順7で-◀◀または▶▶+ボタンを押すごとに
62Hz ↔ 157Hz ↔
396Hz ↔ 1.0kHz ↔
2.5kHz ↔ 6.3kHz ↔
16kHz
と切り換わります。
- レベルの調整可能範囲は
±10dBです。

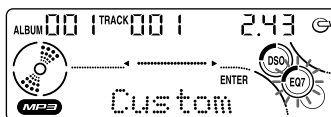
好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「EQ7 Tune」を選ぶ。



- 4 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

- 5 -◀◀または▶▶+ボタンを押してイコライザーカーブを選ぶ。



- 6 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

- 7 -◀◀または▶▶+ボタンを押して周波数を選ぶ。

- 8 ◀◀/▶▶ダイヤルを回してレベルを調節する。

手順7と8を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

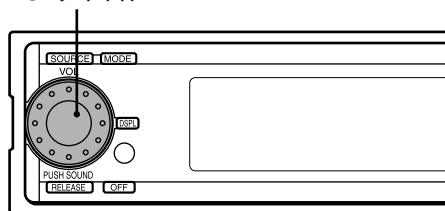
- 9 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順7または8で◀◀/▶▶ダイヤルを2秒以上押し続けます。

音のバランスや音質を設定する

(バス)(トレブル)
(バランス)(ATT)
(ソースサウンドメモリー)

VOLダイヤル



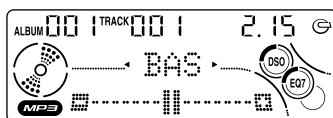
ちょっと一言

- VOLダイヤルを押すごとに
DSO → EQ7 → BAS →
TRE → BAL → FAD →
SUB
と切り換わります。
- 3秒以上操作をしないと、
通常の画面に戻ります。

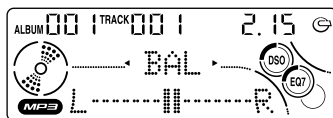
出力バランス / 音質を調節する

BAL(左右のスピーカー出力のバランス)を調節することができ、BAS(低音)TRE(高音)はソースごとに調節することができます。

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生 / 受信する。
- 2 VOLダイヤルを押して、「BAS」、「TRE」または「BAL」にする。



バス(BAS)の設定表示



バランス(BAL)の設定表示

- 3 3秒以内にVOLダイヤルを回して、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

音のバランスや音質を設定する(つづき)

ちょっと一言

- ロータリーコマンダー(別売り)のATTボタンでも操作できます。
- 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

音量を瞬時に小さくする

カードリモコンのATTボタンを押す。

「ATT on」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。

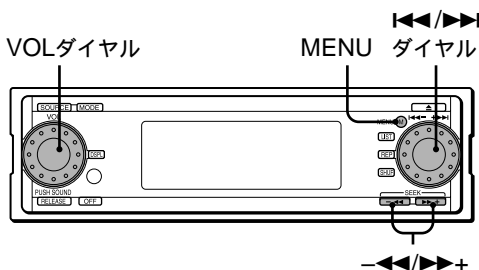
「ATT off」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(FM、AM、CD、MD、AUX)ごとにDSOやイコライザー、BAS、TRE、SUBの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

スピーカーの出力を設定する

設置されているシステムの特徴に合わせて、フロントとリアの出力レベルおよび周波数帯域を調節することができます。



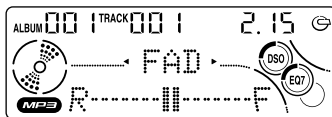
ちょっと一言

- VOLダイヤルを押すごとに
DSO → EQ7 → BAS →
TRE → BAL → FAD →
SUB
と切り換わります。
- 3秒以上操作をしないと、
通常の画面に戻ります。

出力レベルを調整する

- 1 設定するソース（CD、MD、ラジオ、AUXなど）を再生 / 受信する。

- 2 VOLダイヤルを押して「FAD」にする。



- 3 3秒以内にVOLダイヤルを回して、出力レベルを調整する。

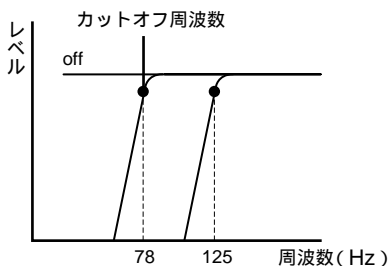
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

スピーカーの出力を設定する(つづき)

スピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

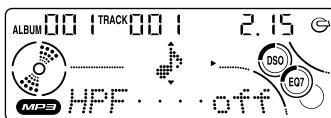
高音質スピーカーの性能を生かしきるためカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



1 設定するソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生 / 受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「HPF」を選ぶ。



4 ◀◀または▶▶+ボタンを押してカットオフ周波数を選ぶ。

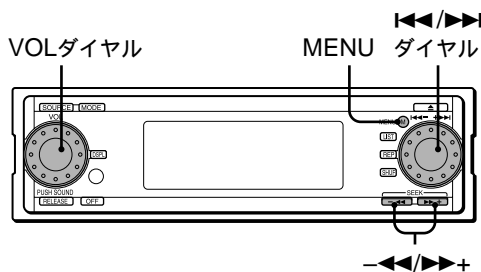
5 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

◀◀または▶▶+ボタンを押すごとに
off (初期値) ↔ 78Hz ↔
125Hz
と切り換わります。

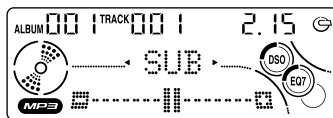
サブウィーク の出力を設定 する



サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

出力レベルを調整する

- 1 設定するソース（CD、MD、ラジオ、AUXなど）を再生 / 受信する。
- 2 VOLダイヤルを押して「SUB」にする。



- 3** 3秒以内にVOLダイヤルを回して、出力レベルを調整する。
- 約3秒後に、通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

サウンドの設定

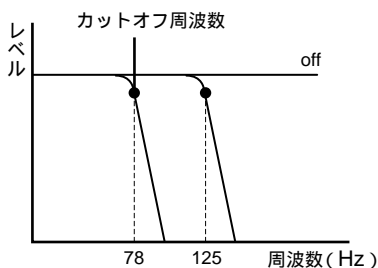
ちょっと一言

- VOLダイヤルを押すごとに
DSO → EQ7 → BAS →
TRE → BAL → FAD →
SUB
と切り換わります。
- 3秒以上操作をしないと、
通常の画面に戻ります。
- レベルの調整可能範囲は
±10dBです。(−10dB以
下は−∞dBと表示します。)

サブウーファーの出力を設定する(つづき)

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

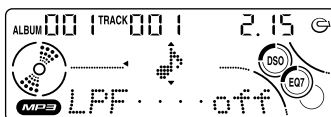
音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、125Hzを選ぶと、125Hz以上の音が除かれます。



1 設定するソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)を再生/受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ◀▶/▶▶ダイヤルを回して「LPF」を選ぶ。



4 ◀▶または▶▶+ボタンを押してカットオフ周波数を選ぶ。

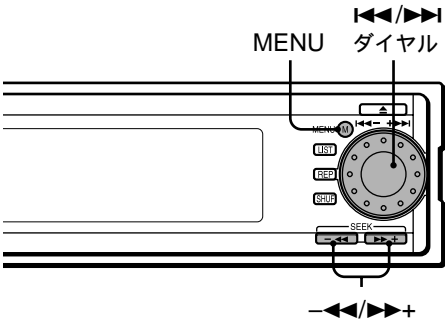
5 ◀▶/▶▶ダイヤルを押す。

通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

◀▶または▶▶+ボタンを押すごとに
off(初期値) ↔ 125Hz
↔ 78Hz
と切り換わります。

音や表示などの 設定を換える



ご注意

「AUX-A」、「Demo」の設定をするときは、まずOFFボタンを押してソースの再生／受信をやめます。そのあと、「設定を換える」(46ページ)の手順にしたがって操作してください。

* ソースの再生／受信を停止中の場合のみ表示します。

** ソースを再生／受信中の場合のみ表示します。

Set upメニュー

設定の種類	設定内容
「Clock」	時計の設定。(18ページ)
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「AUX-A」*	SOURCEボタンを押した時の「AUX Audio」の表示の有無を設定する。 「on」→ 本機のAUX IN(外部音声入力)端子にDVDポータブルプレーヤーなどを接続する場合にソースメニューに表示する。 「off」→ 本機のAUX IN(外部音声入力)端子に何も接続していない場合にソースメニューに表示させない。

Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「D.Info」**	時計を表示させる。 スペクトラムアナライザーの設定で「B1」～「B5」を選択しているときは、スペクトラムアナライザー表示が優先され、時計は表示されません。
「SA」**	スペクトラムアナライザーの設定。 (47ページ)
「Demo」*	再生／受信の停止中にデモまたは好きな文字(48ページ)を表示する。

次のページへつづく

その他の操作

音や表示などの設定を換える(つづき)

*** CDまたはMDを再生中の場合のみ表示します。

ちょっと一言

- カードリモコンの↑または↓を2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリーがスキップします。

Set up



: 一般設定

Display



: 表示の設定

Play Mode



: 受信の設定

Sound



: 音質 / 音響の設定

Edit



: 表示文字の設定

- 選べるメニュー項目はソースによって変わります。
- 選んだ項目を変更しないでもとの画面に戻るには、MENUボタンを押します。

ご注意

メニュー項目表示中は、5秒以内に操作をしないと通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

カードリモコンで操作するときは、MENUボタンを押した後、↑/↓ボタンで設定項目を選んで←/→ボタンで設定し、ENTERボタンを押します。

設定の種類	設定内容
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ) 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Contrast」	表示のコントラストを換える。(全10段階)
「Color」	ディスプレイの色を7種類から選ぶことができます。
「A.Scr1」***	MP3、CD TEXT対応のディスクまたはMD再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(22ページ)

Soundメニュー

設定の種類	設定内容
「Loud」**	音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくする。

設定を換える

1 MENUボタンを押す。

2 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して、設定したい項目を選ぶ。

3 ←◀または▶▶+ボタンを押して、調節したい設定にする。

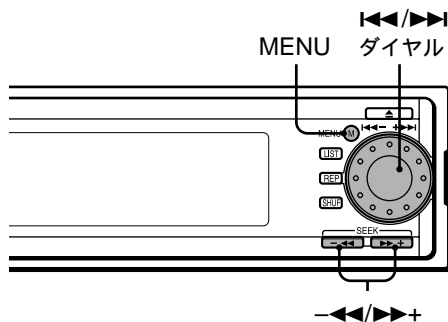
(例: 「on」または「off」)

4 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。

スペクトラムアナライザーを選ぶ

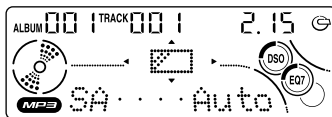
(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。表示パターンは10種類の中から選ぶことができます。



設定を選ぶ

- 1 設定するソース (CD、MD、ラジオ、AUXなど) を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ◀◀/▶▶ダイヤルを回して「SA」を選ぶ。



- 4 ◀◀または▶▶+ボタンを押して、SAのパターンを選ぶ。
- 5 ◀◀/▶▶ダイヤルを押す。
通常の画面に戻ります。

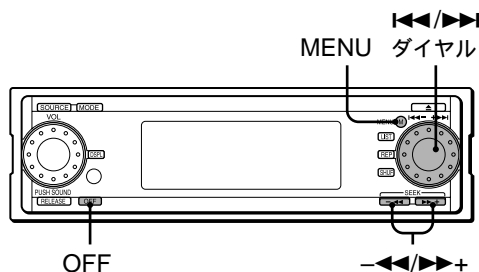
ちょっと一言

- ◀◀または▶▶+ボタンを押すごとに
A-1 ↔ A-2 ↔ ... A-5
↔ B-1 ↔ B-2 ↔
... B-5 ↔ off ↔ Auto
↔ A-1
と切り換わります。
- 「Auto」を選ぶとA-1 ~ B-5の11パターン (offを含む) を順に表示します。

その他の操作

デモディスプレイに好きな文字を表示させる

本機の電源OFF時に好きな文字(言葉や名前)を表示(最大64文字)させることができます。(Demo on設定時)



ちょっと一言

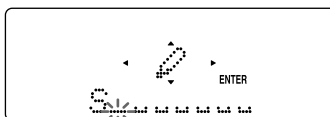
- 手順4でILL/ILLIダイヤルを回すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ a ↔ b ↔ c ↔ ... z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔ ↔ ↔ ↔ ↔
↔ A
と換わります。
- 文字をあげたいときは、「↑」を入力します。
- 手順4の文字選択時に、DSPLボタンを押すと、A → a → 0 と換わり、文字カテゴリーをスキップすることができます。
- 文字入力を間違えたときは、←ボタンを押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

ご注意

メニュー項目表示中は、5秒以内に操作をしないと通常の画面に戻ります。

表示させたい文字(言葉や名前)の設定

- 1 OFFボタンを押してソース(CD、MD、ラジオ、AUXなど)の再生/受信をやめる。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ILL/ILLIダイヤルを回して「Name Input」を選び、ILL/ILLIダイヤルを押す。
- 4 ILL/ILLIダイヤルを回して入力する文字を選び、ILL+ボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてILL+ボタンを押します。

- 5 手順4を繰り返して、名前を入力し終わったらILL/ILLIダイヤルを押す。
通常の画面が表示されます。

名前を消去するには

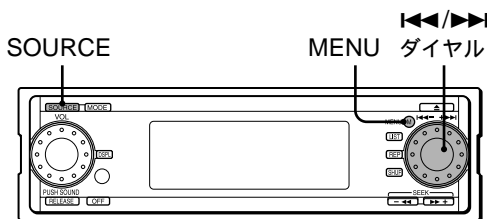
手順3で「Name Input」を選んだあと、ILL/ILLIダイヤルを2秒以上押し続けます。

設定した文字を表示させるには

「音や表示などの設定を換える」(45~46ページ)の「Demo」設定で「on」を選びます。

ポータブル機器の音声を聞く

本機のアUX IN(外部音声入力)端子に接続したDVDポータブルプレーヤー(別売り)などの音声を車のスピーカーから聞くことができます。



ご注意

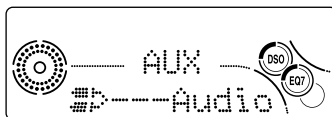
- ソースが「AUX Audio」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。
- メニュー項目表示中は、5秒以内に操作をしないと通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- SOURCEボタンを繰り返し押しても「AUX」表示にならない場合は、「音や表示などの設定を換える」(45～46ページ)の「AUX-A」設定を「on」にしてください。
- 本機に接続した機器によって音量調整は異なります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±6dBです。

ソースを設定する

SOURCEボタンを繰り返し押して、「AUX」表示にする。



出力レベルを調整する

- 1 ソースが「AUX」のときに、MENUボタンを押す。
- 2 ◀▶/▶▶ダイヤルを回して「AUX Level」を選び、◀▶/▶▶ダイヤルを押す。
- 3 ◀▶/▶▶ダイヤルを回して、接続した機器に合わせて出力レベルを調節する。
- 4 ◀▶/▶▶ダイヤルを押す。

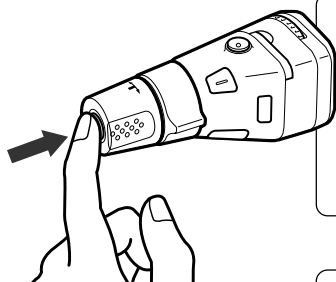
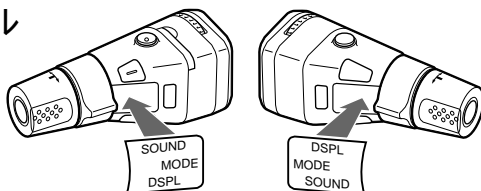
ロータリーコマンダー(別売り)の操作

本機はロータリーコマンダー(RM-X5S、RM-X4S)で操作できます。

イラストはワイヤレスロータリーコマンダー(RM-X5S)ですが、ワイヤードロータリーコマンダー(RM-X4S)でも使いかたは同じです。

ロータリーコマンダーのシールについて

ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



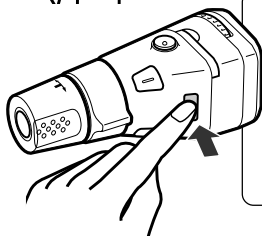
ソース

SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが

ラジオ(FM/AM) CD MD*¹ AUX ラジオ
と切り換わります。

*¹ 別売りの機器を接続時のみ表示します。



モード

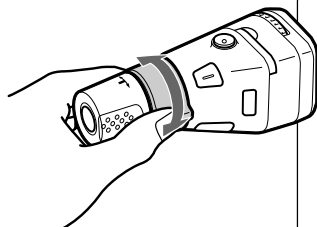
MODEボタンを押すと

ラジオの時: FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1

CDの時: CD1 → CD2 → ... → CD1

MDの時: MD1 → MD2 → ... → MD1

と切り換わります。



SEEK/エーエムエス

SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

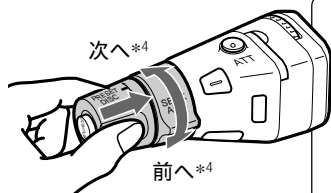
ラジオ 自動的に放送局を受信する

回し続けると特定の周波数に合わせられます。

CD/MD .. 曲の頭出しをする

つまみを離してから1秒以内に再び回し続けると、
連続して曲がスキップします。

回し続けると早送り / 早戻しになり、離すと再生に戻ります。



ボリューム

VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM 登録した放送局を順に受信する

CD/MD ディスクを切り換える^{*2}

アルバムを切り換える^{*3}

^{*2} 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されているとき。

^{*3} MP3再生時のみ切り換えます。

ディスクやアルバムの切り換えかた

本機でCDを再生している場合

(別売りのCD機器を接続していない場合)

MP3再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回して、再生したいアルバムを選びます。

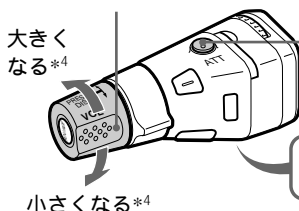
回し続けると連続して送れます。

(通常の音楽CD再生時は動作しません。)

別売りのソニー製CD/MDチェンジャーでCDまたはMDを再生している場合

- VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回すと、チェンジャー内のディスクを選ぶことができます。
つまみを戻してから1秒以内に再び押しながら回すと、回し続けている間は連続して送れます。
- MP3再生時に、VOLつまみを押しながらSEEK/AMSつまみを回し続けると、再生中のディスク内のアルバムを選ぶことができます。
つまみを戻してから1秒以内に再び押しながら回すと、1つつ送れます。

音量を調節する(ボリュームつまみを回す)



音量を瞬時に下げる(ATTボタンを押す)

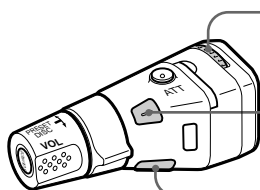
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生 / 受信の停止(OFFボタンを押す)

^{*4} 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

次のページへつづく

ロータリーコマンダー（別売り）の操作（つづき）



送信電波の方向を調節する（ダイヤルを回す）
取り付けた位置などで本体が反応しないときなどに調節します。

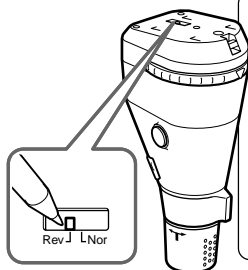
音量調節・音質選択する（サウンドSOUNDボタンを押す）
本体のVOLダイヤルを押したときと同じ動きをします。

画面表示を変える（ディスプレイDSPLボタンを押す）
本体のDSPLボタンと同じ動きをします。

つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

RM-X5S

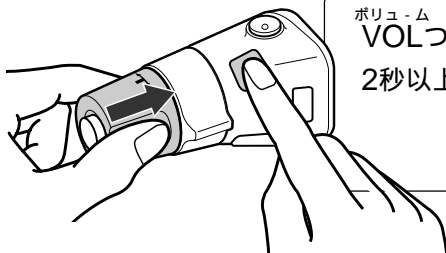


ボールペンの先などで底面の切り替えスイッチを「Nor」または「Rev」にする

「Nor」.... ハンドルコラムの左側に取り付けたときの回転方向（初期設定）

「Rev」.... ハンドルコラムの右側に取り付けたときの回転方向

RM-X4S



ボリュームVOLつまみを押しながらサウンドSOUNDボタンを
2秒以上押し続ける

初期設定はハンドルコラムの左側に取り付けたときの回転方向になっています。

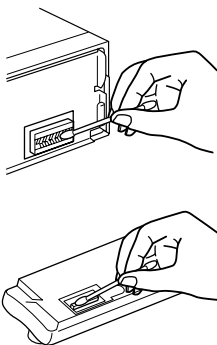
ちょっと一言

ワイヤレスロータリーコマンダー（RM-X5S）のリチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」（54ページ）をご覧ください。

使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて
フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

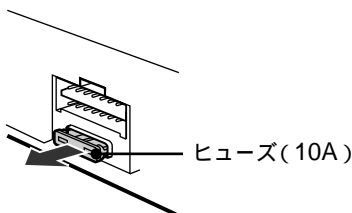
本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

CDレンズについて

- ディスクトレイにあるCDレンズには触れないでください。
- 市販のレンズクリーナーなどを使用しないでください。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

表示窓の結露について

寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくと結露が取り除かれ正常に戻ります。

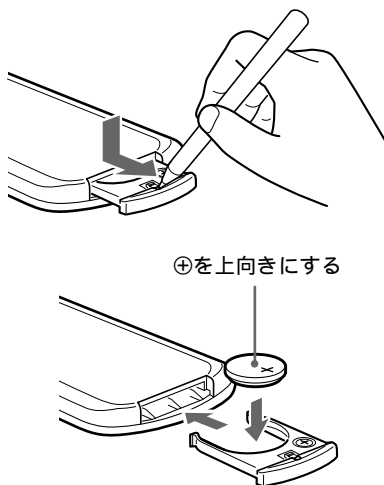
[次のページへつづく](#)

使用上のご注意(つづき)

電池の入れかた

カードリモコン

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



ワイヤレスロータリーコマンダー

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンやワイヤレスロータリーコマンダーがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。• 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。 → ソニー製MDLP対応機器（MDX-66XLPなど）で再生してください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定（45～46ページ）を「on」にしてください。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。• フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする。（53ページ）
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが正しく接続されていない。• 車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押して電源を入れてください。
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。

	症状	原因・処置
共通	電源がOFFにならない。	車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。
	オートアンテナが上らない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
	「-----」表示が消えない。	Name Edit (名前入力) モードに入った。 → LIST ボタンを2秒以上押し続けてください。
CD/MD	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。 本機の取り付け角度が30°を越えている。 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。
	MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ISO9660レベル1、レベル2、Juliet、Romeoに準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 MP3ファイルに拡張子が付いていない。 → 記録した機器で拡張子「.MP3」を付けてください。 MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。
	アルバム名、曲名、ID3タグが正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ISO9660レベル1に準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 本機では常に9文字までしか表示されません。
	アルバム名、曲名、ID3タグが「*」になる。 CD TEXTの文字が「*」になる。	本機で表示できる文字コードはASCIIと半角カナ (JulietはASCIIのみ) です。それ以外の文字は「*」と表示します。

[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
ラジオ	受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。 • IF機能が「Wide」になっている。 → 「Auto」にしてください。(30ページ)
	SEEK/AMSボタンを押しても 聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「Local on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「Local off」にしてください。(29ページ) • 電波が弱くて自動選局できない。 → ◀◀または▶▶+ボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> • 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください。(30ページ) • DSOの設定を「off」にしてください。(36ページ)
サウンド設定	音が出ない、または 音が小さい。	<p>左右のスピーカー出力のバランス(BAL)、フロントとリアの出力レベル(FAD)の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。</p> <p>→ BAL、FADを調節してください。(39、41ページ)</p>

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
High Temp	周囲の温度が50℃以上になった。	50℃以下に下がってから再生する。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Mag	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO Music	本機またはMP3対応のCD機器に、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
Not Ready	MDチェンジャー (MDX-40) のフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

ID3 tag ver. 2について

ID3 tag ver.2 が入っている曲を再生した場合、下記の現象が起こりますが、故障ではありません。

– ID3 tag ver.2 部分(曲頭)を読み飛ばす時は無音になります。無音時間はID3 tag ver.2の容量によって異なります。

例：64byteで約2秒(RealJukebox使用時)

– ID3 tag ver.2部分を読み飛ばすときの時間表示は不正確になります。

また、128kbps以外のビットレートの曲の場合も、再生時の時間表示が不正確になります。

– ID3 tag ver.2 はMP3変換ソフトによってMP3ファイルを作成した場合、自動的に入る場合があります。(例：RealJukebox*)

* RealJukeboxはリアルネットワークス社の登録商標です。

2001年12月現在

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	95dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dB
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 72dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

グラフィックイコライザー部

中心周波数	62Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	±10dB

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	52W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー(モノラル)音 声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 AUX IN(外部音声入力)端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用)、 ATT入力端子(ナビ用)、 イルミネーションコントロール 入力端子
本体寸法	約178×50×182mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.6kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) カードリモコン RM-X112(1) (リチウム電池(1)を含む) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1) ケース(1)

[次のページへつづく](#)

主な仕様(つづき)

別売品

CDチェンジャー(10枚)

CDX-757MXなど

MDチェンジャー(6枚)

MDX-66XLPなど

MG-MSシステムアップ

プレーヤー

MGS-X1

パワーアンプ

XM-405EQXなど

アクティブサブウーファー

XS-AW5X

ソースセクター

XA-C30

ワイヤレスロータリー

コマンダー

RM-X5S

ワイヤードロータリー

コマンダー

RM-X4S

バスケーブル(RCAピンコード
付属)

RC-61(1m)

RC-62(2m)

バス延長コード

RC-U305(0.5m)

RCAピンコード

RC-64(2m)

RC-65(5m)

電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルブリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー	37 ~ 38
エラー表示	59
オートスクロール	22、46
音量	12 ~ 13

カ行

外部音声	49
カスタムファイル	25 ~ 27
カットオフ周波数	42、44

サ行

サブウーファー出力	43 ~ 44
スクロール	21 ~ 22、46
ステーションメモ	33 ~ 34
シャッフル	24
ステレオ放送	30
スピーカー出力	41 ~ 42
スピーカーバランス	39
スペクトラムアナライザー	45、47
ソースサウンドメモリー	40

タ行

ディスクメモ	25 ~ 26
デモディスプレイ	45、48
登録	
自動登録	28
放送局	28、31
時計	18

ナ行

名前

消去する	26、34
つける	25、33
表示する	27、35、48

ハ行

バランス	39
ヒューズ	53
表示窓	
CD/MD	21
ラジオ	29
フロントパネル	11
ベストチューニングメモリ - (BTM)	28
ボタンの音	45

マ行

モノラル	30
------	----

ラ、ワ行

ラウドネス	46
ラジオ	13、28 ~ 35
自動選局	30
登録	28、31 ~ 32
名前で探す	35
名前を消去する	34
名前をつける	33
リスト	27、35
リセット	10
リピート	23
リモコン	
カードリモコン	
.....	16 ~ 17、54 ~ 55
ロータリーコマンダー	
.....	50 ~ 52、54

アルファベット順

A.Scr1	22、46
ATT	40
AUX	49
AUX-A	45
AUX Level	49
BAL	39
BAS	39
Beep	45
BTM	28
CD/MP3、MD	
.....	12、19 ~ 27
名前で探す	20、27
名前を消去する	26
名前をつける	25
CD TEXT	19
Clock	18、45
Color	46
Contrast	46
D.Info	45
Demo	45
Dimmer	46
DSO	36
EQ7	37
EQ7 Tune	38
FAD	41
HPF	42
ID3 tag	19、21、60
IF	30
Local	29
Loud	46
LPF	44
MDLP	19
Mono	30
MP3	8 ~ 9、19 ~ 24、27
MS	20
Name Del	26、34
Name Edit	25、33
Name Input	48
Preset Edit	31
REP	23
SHUF	24
SUB	43
SA	45、47
TRE	39

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われる
ときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Korea